

外 国 語 学 部

嵐 洋子

講演

- 嵐洋子他：外国人介護士の語りにみられる介護施設内コミュニケーションの困難点。2023年度日本語教育学会春季大会。オンライン。2022年5月22日。

その他（学会等および社会における主な活動）

- （審査・運営協力員）日本語教育学会

その他（教育内容・方法の工夫）

- （研究分担者）科学研究補助金（基盤研究（C））「看護・介護現場の接触場面における方言使用実態の調査と方言学習用アプリ教材の開発」（課題番号：20K00729）

岩本 和良

その他（学会等および社会における主な活動）

- （運営）第30回日本機能言語学会秋期大会。東京。2022年10月22-23日。
- （講演）正則高等学校進路指導セミナー「大学で学ぶ・英語を学ぶ」。東京。2022年11月7日。

宇佐美 貴浩

その他（学会等および社会における主な活動）

- （企画）写真供養感謝祭。神奈川県鎌倉市浄智寺。2022年11月12日。

小堀 貴亮

講演

- 小堀貴亮他：温泉地との地域連携による大学観光教育の実践と課題～杏林大学・東伊豆町ウェルネスツーリズムプログラムの事例。日本温泉地域学会第36回研究発表大会。別府。2022年6月5日。
- 小堀貴亮：世界の温泉地。第1回長野県温泉協会「温泉療養指導士」養成講習会。長野。2022年6月12日。
- 小堀貴亮：温泉観光学。長野県温泉協会第4回「温泉療養指導士」更新講習会。長野。2022年10月18日。
- 小堀貴亮：温泉観光学－温泉地の観光発達と現状－。温泉観光士養成講座 in 東京。三鷹。2022年10月30日。
- 小堀貴亮：現代版湯治場再考。第31回温泉観光実践士養成講座。長野。2020年11月20日。
- 小堀貴亮：温泉観光学入門－温泉地域の魅力と最新事情－。八王子学園都市大学公開講演会。八王子。2022年12月24日。

論文

- 小堀貴亮他：新たに指定された国民保養温泉地の諸相－山形県鶴岡市「由良温泉」および「熊本県水俣市「湯の児・湯の鶴温泉」－。温泉。90（4）。38-39。2022年11月10日。
- 小堀貴亮他：「杏林型ウェルネス・ツーリズム」の構想立案と実施およびその妥当性の研究。2022年度杏林大学地域総合研究所紀要。1-4。2023年3月。

報告書

- 小堀貴亮：令和4年国民保養温泉地計画改訂等委託業務報告書「山形県由良温泉」。2022年8月。

その他（学会等および社会における主な活動）

- （コンテスト）愛知県田原市の観光ブランディング企画（大学生観光まちづくりコンテスト入賞）。2022年4月～6月。
- （書評）高柳友彦著『温泉の経済史―近代日本の資源管理と地域経済』。日本歴史。888。106-107。2022年5月。
- （記事）ニューノーマル時代における新たな学び－VOICE 観光教育の現場。観光経済新聞。2022年6月16日。
- （調査）環境省国民保養温泉地現地調査（山形県鶴岡市国民保養温泉地計画）。2022年6月22日～6月23日。
- （パネリスト）小堀貴亮：国民保養温泉地のブランド活用について。環境省 国民保養温泉地協議会総会・フォーラム。静岡。2022年7月1日。
- （ファシリテーター）温泉地におけるヘルスツーリズム／ウェルネスツーリズムを推進する上で必要な事。環境省 第7回全国温泉地自治体首長会議および第4回チーム新・湯治全国大会。東京。2022年10月7日。
- （記事）東伊豆の熱川温泉を自宅で楽しめるギフトセットを10月28日より販売開始（小堀ゼミナールの産官学連携による活動を紹介）。中日新聞。2022年10月28日。
- （記事）熱川温泉のセット販売開始、源泉を有効活用し誘客促進－東伊豆町（小堀ゼミナールの産官学連携による活動を紹介）。伊豆新聞。2022年11月27日。

倉林 秀男

講演

- 倉林秀男：文学作品も英語学習に－英語文体論的観点から考える作品の味わい方。日英言語文化学会年次大会。オンライン。2022年6月11日。
- 倉林秀男：The Japan Times Alphaを使って英語学習を続けよう。ジャパンタイムズアルファ・オンラインセミナー。オンライン。2022年6月12日。
- 倉林秀男：The Great Gatsbyの『精読』と『解釈』を巡って。F. スコット・フィッツジェラルド協会2022年度全国大会。東京。2022年8月3日。
- 倉林秀男：英文法で文学作品に迫る－ヘミングウェイの短編を中心に。上智大学英文学会第47回大会。東京。2022年10月29日。
- 倉林秀男：街の公共サインを点検する－主に英語表記について－。都市デザイン実務講習会。オンライン。2022年11月18日。
- 倉林秀男：小さなことからコツコツと：英語がわかると言えるようになるまで。Z会『英語長文のテオリア』『英語長文読解プラクシス』発刊記念セミナー。オンライン。2022年12月4日。

論文

- 倉林秀男：情報の圧縮と留保が生み出す効果とそのスタイルの源流を探る。ヘミングウェイ批評：新世紀の羅針盤。日本ヘミングウェイ協会編。47-66。2022年4月。
- 倉林秀男：ヘミングウェイの語りの文体。ヘミングウェイ批評：三〇年の航跡。日本ヘミングウェイ協会編著。207-220。2022年4月。

著書

1. 倉林秀男他：英文長文のテオリア 英文法で迫る英文読解演習。Z会。2022年。
2. 倉林秀男他：シンプルで伝わる英語表現—日本語との発想の違いから学ぶ。ちくま新書。2022年。
3. 倉林秀男他：シートン動物記で学ぶ英文法。アスク出版。2022年。

齋藤 智志

論文

1. 齋藤智志：学知と自由—ショーペンハウアー「大学哲学について」を読む。ショーペンハウアー研究 27：8-20。2022年12月。

著書

1. Satoshi Saitoh 他：Schopenhauer's 'Kritische Historik'. Das neue Jahrhundert Schopenhauers : Akten des Internationalen Forschungs-projekts anlässlich des 200. Jubiläums von Die Welt als Wille und Vorstellung 2018- 2020. Yoichiro Takahashi, Takao Ito und Tsunafumi Takeuchi (Hrsg.). Königshausen & Neumann. Dez. 2022. 511-522.

その他（団体役員）

1. （理事・事務局長・協会誌編集委員）日本ショーペンハウアー協会
2. （理事）日本ディルタイ協会
3. （協会誌編集委員）実存思想協会
4. （委員）三鷹市生涯学習審議会
5. （委員）三鷹市社会教育委員

坂本 ロビン

講演

1. 坂本ロビン：リーダーのための英語スキルアップセミナー。日本網膜硝子体会。東京。2022年4月30日。
2. 坂本ロビン：高校生への英語の教え方・自己研鑽セミナー。杏林大学外国語学部。オンライン。2022年6月7日。
3. 坂本ロビン：日本は本当に先進国なのか？。三鷹。2022年10月12日。
4. 坂本ロビン：Is Japan a developed country?. 順天中学高等学校。東京。2022年11月18日。

著書

1. 坂本ロビン：GENIUS English Logic and Expression: 大修館書店。2023年。

その他（表彰）

1. 令和4年度春季善行表彰「国際貢献表彰」。一般社団法人日本善行会。2022年5月26日。

その他（団体役員）

1. （委員）東京外国語大学経営協議会／学長選考会議
2. （副理事長）三鷹国際交流協会
3. （座長）みたか国際化円卓会議

高木 眞佐子

講演

1. 高木眞佐子：サー・トマス・マロリー『アーサー王の死』のテキスト変容—印刷・出版・読者の視点から眺める500年の歴史—。日本英文学会第94回大会シンポジウム第5部門。オンライン。2022年5月21日。
2. 高木眞佐子：写真で見るイギリス・ロンドンとオックスフォード—伝統と変化。杏林大学公開講演会。オンライン。2022年11月12日。

論文

1. Masako Takagi: Cadwaladr's Prophecy upon Henry Tudor: 'but as a Conquerour come forth thy self'. Poetica. 97&98. 1-27. 2023年3月。

千野 万里子

論文

1. 千野万里子：叶聖陶の言語について（6）—書き換え作業と普通話，“～子”“～儿”に見られる修正を中心に—。杏林大学外国語学部紀要。35. 83-105. 2023年3月。

張 弘（宮首 弘子）

講演

1. 張弘（宮首弘子）：持続可能な通訳基礎トレーニング法（「感染症（結核・HIV）通訳養成講座Ⅲ」）。「在留外国人に対する HIV検査や医療提供の体制構築に資する研究」班と特定非営利活動法人チャーム。オンライン。2022年10月8日。
2. 張弘（宮首弘子）：感染症医療通訳ロールプレイ演習の指導と評価（「感染症（結核・HIV）通訳養成講座Ⅲ」）。「在留外国人に対する HIV検査や医療提供の体制構築に資する研究」班と特定非営利活動法人チャーム。オンライン。2022年11月5日。
3. 張弘（宮首弘子）：通訳技術の基本（「感染症（結核・HIV）第1部 通訳養成講座第2回」）。「在留外国人に対する HIV検査や医療提供の体制構築に資する研究」班とNPO法人多言語社会リソースかながわ。オンライン。2023年2月4日。
4. 張弘（宮首弘子）：言語別通訳実技演習（ロールプレイ）（「第2部 感染症通訳のための実技演習」）。「在留外国人に対する HIV検査や医療提供の体制構築に資する研究」班とNPO法人多言語社会リソースかながわ。オンライン。2023年2月11日。

論文

5. 張弘（宮首弘子）：リモート医療通訳者研修の模索。杏林大学外国語学部紀要。35. 41-61. 2023年3月。

報告書

1. 張弘（宮首弘子）他：遠隔医療通訳のための通訳基礎技術とロールプレイ演習の取り組み。厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「在留外国人に対する HIV検査や医療提供の体制構築に資する研究」班令和4年度（2022）総括・分担研究報告書：18 - 38. 2023年3月。

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （外国人対応）在留外国人を対象としたHIV検査会。「在留外国人に対する HIV検査や医療提供の体制構築に資する研究」班主催。東京。2022年6月26日。
2. （審査委員）第28回高校生中国語発表大会。高等学

校中国語教育研究会関東支部主催。埼玉県立和光国際高等学校。2022年11月23日。

3. (審査委員) 劉雨桐ポスドク研究課題報告会。中国湖南大学。オンライン。2022年12月23日。
4. (通訳) 在留外国人を対象としたHIV検査会。「在留外国人に対する HIV検査や医療提供の体制構築に資する研究」班主催。オンライン。2023年2月4日。
5. (通訳) 在留外国人を対象としたHIV検査会。「在留外国人に対する HIV検査や医療提供の体制構築に資する研究」班主催。オンライン。2023年2月11日。

鄭 英淑

論文

1. 鄭英淑：近代日本の法律用語「治外法権」の成立過程。杏林大学外国語学部紀要。35。27-40。2023年3月。

長谷川 弘子

論文

1. 長谷川弘子：ゲーテとローレンス・スターン—感傷主義とruling passion。杏林大学外国語学部紀要。35。1-26。2023年3月。

古本 泰之

講演

1. 古本泰之：特別講座「温泉を対象とした大学観光教育」。日本温泉地域学会・温泉観光士養成講座。三鷹。2022年10月30日。
2. 古本泰之：シンポジウム「大学コンソーシアム八王子による地域貢献と教育～「まるごとキャンパス八王子」の現状と今後～」。第19回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム。八王子。2022年10月15日。
3. 古本泰之他：コロナ禍における子育て支援の試み—地域活動から見えてきたこと。第13回日本子ども虐待医学学会学術集会。仙台。2022年7月23日。
4. 古本泰之他：温泉地との地域連携による大学観光教育の実践と課題～杏林大学・東伊豆町ウェルネスツーリズムプログラムの事例。日本温泉地域学会 第36回研究発表大会。別府。2022年6月5日。

論文

1. 古本泰之：生活文化としての温泉と世界遺産。温泉。90(3)。10-11。2022年8月。
2. 古本泰之：地域特性としての温泉信仰と観光まちづくり。温泉。90(4)。6-7。2022年11月。
3. 古本泰之他：「杏林型ウェルネス・ツーリズム」の構想立案と実施およびその妥当性の研究。2022年度杏林大学地域総合研究所紀要。1-4。2023年3月。
4. 古本泰之：日本の高原型観光地における美術館の集積をアート・ツーリズムへと展開する上での課題—静岡県伊東市伊豆高原地域を事例とした試論—。杏林大学外国語学部紀要。35。107-117。2023年3月。

その他（学会等および社会における主な活動）

1. (理事・総務委員長) 日本観光ホスピタリティ教育学会

2. (理事) ロングステイ観光学会
3. (専門家委員) 環境省「国民保養温泉地」
4. (部会長) 大学コンソーシアム八王子・産学公連携事業部会
5. (会長) 八王子市「伝統文化ふれあい事業」実行委員会
6. (副委員長) 三鷹市町会等地域自治組織活性化事業選考委員会
7. (相談役) 新川宿まちづくり協議会

河路 由佳

論文

1. 河路由佳：日本学術振興会『英訳萬葉集』(一九四〇)の〈和文章稿〉をめぐる考察。戦争と萬葉集。5。128-148。2023年3月。
2. 河路由佳：土岐善麿の新作能「親鸞」をめぐる考察—浄土真宗の能としての成立過程と「生活派」土岐善麿の思想。武蔵野文学館紀要。13。53-79。2023年3月。

その他（学会等および社会における主な活動）

1. (評論) 1920年代後半に現れた口語定型短歌の彗星 遼星北斗論。現代短歌。5(90)。48-53。2022年5月。
2. (研究ノート) 土岐善麿の一九五〇年代(六)—『短歌研究』特集号が出た一九五五年—。新暦5月号。38。2022年5月1日。
3. (研究ノート) 土岐善麿の一九五〇年代(七)—早稲田を去った一九五六年—。新暦7月号。36。2022年7月。
4. (研究ノート) 土岐善麿の一九五〇年代(八)—新作能「四面楚歌」の一九五七年—。新暦9月号。38。2022年9月。
5. (テレビ講座) 短歌を楽しもう—日本語の魅力あふれる短歌の世界。杏林大学学びの杜。2022年9月放送。
6. (口頭発表) 1920年代の北海道の口語定型短歌運動と遼星北斗ら。十月会九月例会。2022年9月13日。
7. (エッセイ) 歌人 宮終二と三鷹・井の頭界限。杏林大学新聞。2023年11月1日。
8. (研究ノート) 土岐善麿の一九五〇年代(九)—短歌史の中の自分を語った一九五八年—。新暦11月号。36。2022年11月。
9. (研究ノート) 土岐善麿の一九五〇年代(十)—金婚式を祝った一九五九年—。新暦1月号。35。2023年1月。
10. (研究ノート) 土岐善麿の一九六〇年代(一)—中国へ文字改革の視察に行った一九六〇年。新暦3月号。33。2023年3月。
11. (評論) 1920年代の北海道の口語定型短歌運動と遼星北斗。十月。159。1-3。2023年3月。

海谷 千波

講演

1. 海谷千波：思想の〈間〉に開かれる超真理を求め—ロゴセラピーと『正法眼蔵』の比較を通して—。多文化関係学会第21回年次大会。オンライン。2022年10月15日。

- 海谷千波：これからの多文化共生・多文化関係の探求に向けた「縁側」のデザイン～学会が「おもしろく」「意義深く」「生成的な」場であるために。多文化関係学会第21回年次大会。オンライン。2022年10月16日。

著書

- 海谷千波他：多文化関係学研究の今後の発展に向けて—石井敏の啓蒙的提唱の批判的かつ実践的継承—。「縁側」知の生成にむけて—多文化関係学という場の潜在力。明石書店。2022年。39-60。

その他（団体役員）

- （学術委員）異文化コミュニケーション学会

北村 一真

講演

- 北村一真他：オンライン・ロゴフィリア座談会（出版記念講演会）。アスク出版。オンライン。2022年。

著書

- 北村一真他：知識と文脈で深める上級英単語 LOGOPHILIA。アスク出版。2022年4月。
- 北村一真他：ジャパントイムズ社説集2022。ジャパントイムズ出版。2022年。

その他（学会等および社会における主な活動）

- （連載）基礎からきちんと英文読解。NHKラジオ 中学生の基礎英語レベル2（2022年4月号～2023年3月号）。2022年4月～2023年3月。
- （書評）日本の「英文法」ができるまで。英語教育9月号。74。2022年9月。

田中 洋

講演

- 田中洋：ヘッセの1922年—Geschichten aus Japanについて。日本ヘルマン・ヘッセ友の会／研究会2022年度春季総会・研究発表会。東京。2022年5月8日。
- 田中洋：ドイツとサステナビリティ ライフスタイル・文化・ことば。順天高校Global Week 2022 立場を超えて、互いに学び合う1週間。オンライン。2022年11月15日。

その他（学会等および社会における主な活動）

- （記事）「どうぶつかいぎ展」への展示評。Die Brücke 架け橋。723。2。2022年4月。
- （記事）：フロイト再読—「人はなぜ戦争をするのか」。Die Brücke 架け橋。724。12。2022年6月。
- （記事）日独交流の架け橋を築いた人々 Pioniere des Japanisch-deutschen Kulturaustausches 第7回 独文学者・エッセイスト 池内紀（1940年～2019年）Osamu IKEUCHI. Germanist und Essayist (1940-2019). Die Brücke 架け橋。725。8-9。2022年8月。
- （記事）：「おお友よ、その調べにあらず！」—会員と読者の集い（第4回）報告。ヘルマン・ヘッセ友の会報。28。31-34。2023年3月。

西山 桂子

講演

- 西山桂子：ホテルのハウスキーピングについて。やまのうちインターンシップ2022。オンライン。2022年7月25日。

論文

- 西山桂子：ホテル業界とAirbnbの競合関係—コミュニティハブへと転換をはかるグローバルホテルチェーンの課題—。杏林大学外国語学部紀要。35。119-131。2023年3月。

森 和

講演

- 森和：禹のいくつかの属性。治水神・禹王研究会2022年第9回大会。小田原。2022年4月2日。
- 森和：中国古代史。早稲田大学エクステンションセンター。東京。2022年7-9月（6回）。
- 森和：中国の治水神話と神性の派生。朝日カルチャーセンター横浜教室「世界の神話シリーズ」。横浜。2022年9月23日。
- 森和：読み継がれる『論語』の魅力。杏林大学公開講演会。オンライン。2022年10月7日。
- 森和：中国古代史。早稲田大学エクステンションセンター。東京。2023年2-3月（4回）。
- 森和：簡牘より見る中国古代の食いしん坊たち。早稲田大学東洋史懇話会2022年度大会。東京。2023年3月18日。

八木橋 宏勇

講演

- 八木橋宏勇：本格派のためのコーパス・機械翻訳入門—言語学者がそっと教える英語学習虎の巻—。英語学習講演会（神戸慶友会）。オンライン。2022年5月15日。
- 八木橋宏勇：ジブリ映画字幕翻訳から学ぶ異文化間コミュニケーション。東洋女子高等学校。2022年6月11日。
- 八木橋宏勇：高校教員のための英語コーパス入門。高校生への英語の教え方・自己研鑽セミナー。オンライン。2022年6月21日。
- 八木橋宏勇：採択を引き寄せるreader-friendlyな計画調書。令和5年度科研費公募事務説明会・科研費獲得セミナー（井の頭キャンパス）。三鷹。2022年8月16日。
- 八木橋宏勇：採択を引き寄せるreader-friendlyな計画調書。令和5年度科研費公募事務説明会・科研費獲得セミナー（三鷹キャンパス）。三鷹。2022年8月18日。
- 八木橋宏勇：特別研究員制度の概要とDC/PD 応募に向けた準備・指導計画について。杏林大学国際協力研究科FD講習会。三鷹・オンライン。2022年8月24日。
- 八木橋宏勇：ことわざの創造的使用と辞典—メンタルコーパスを豊かにするためのデータベース—。ことわざフォーラム2022「ことわざ辞典とデータベース」シンポジウム。三鷹・オンライン。2022年12月3日。
- 八木橋宏勇：インタラクティブと表現のバリエーション

ョンー“the reason is because”と“the reason being”を中心に、日本英文学会関西支部第17回大会シンポジウム「インタラクシオンの中の言語学（英語学部門）」、神戸、2022年12月18日。

9. 八木橋宏勇：ジブリ映画字幕翻訳から学ぶ異文化間コミュニケーション。東京都立松が谷高等学校。2022年12月20日。
10. 八木橋宏勇：ジブリ映画字幕翻訳から学ぶ異文化間コミュニケーションーポライトネスの日英対照研究ー。教養講座（京都市立国際日本語学校）。京都・オンライン。2023年2月4日。
11. 八木橋宏勇：ジブリ映画字幕翻訳から学ぶ異文化間コミュニケーション。藤村女子中学・高等学校。2023年2月15日。
12. 八木橋宏勇：認知言語学から見た英語学習のツボー知識とスキルをいかにリンクさせるかー。八王子学園都市大学いちよう塾。八王子。2023年2月18、25日、3月4、11日。

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （企画・運営）日本文体論学会第118回大会。三鷹・オンライン。2022年6月25日。
2. （運営）日本認知言語学会認知言語学セミナー。オンライン。2022年9月2日。
3. （運営）日本認知言語学会第23回全国大会。オンライン。2022年9月3-4日。
4. （運営）日本語用論学会第25回大会。京都・オンライン。2022年11月26、27日。
5. （企画・運営）ことわざフォーラム2022「ことわざ辞典とデータベース」。ことわざ学会主催。三鷹・オンライン。2022年12月3日。
6. （対談）新春・村長&副村長対談「今年のことば村・皆さまとともに」。NPO法人地球ことば村ー世界言語博物館主催・慶應言語教育研究フォーラム共催。オンライン。2023年1月24日。

その他（教育内容・方法の工夫）

1. （研究代表者）科学研究補助金（基盤研究（C））「これからの英語教育で期待される論理的思考力の探求とその教育手法・効果測定法の開発」（課題番号：20K00841）
2. （研究分担者）科学研究補助金（基盤研究（C））「言語獲得理論に基づく小学校英語教育の高度化学習プログラムの開発」（課題番号：19K02758）
3. （研究分担者）科学研究補助金（基盤研究（C））「構文、句、語、命名の4層における拡張現象の認知言語学的研究」（課題番号：22K00561）
4. （研究分担者）科学研究補助金（基盤研究（C））「『支援』の理論構築に向けたひとり親家族の子育て支援に関する学際的研究」（課題番号：22K01840）

その他（団体役員）

1. （理事・事務局代表・学会誌編集委員）日本認知言語学会
2. （理事・大会運営委員長）日本文体論学会
3. （理事・事務局）ことわざ学会
4. （評議員・大会総務委員長・広報副委員長）日本語用論学会
5. （事務局長）「言語と人間」研究会
6. （副理事長）NPO法人地球ことば村世界言語博物館
7. （外部委員）独立行政法人国際観光振興機構（日本政府観光局）
8. （委員）学校法人日出学園英語教育プログラム開発

委員会

9. （委員）八王子市男女共同参画施策推進条例制定検討会
10. （議長）八王子市男女共同参画施策推進会議

その他（教育活動上特記すべき事項）

1. （他大学出講）英語学Ⅲ・Ⅳ（認知言語学）。慶應義塾大学文学部。
2. （他大学出講）英語第Ⅰ。慶應義塾大学法学部。
3. （他大学出講）英語（ライティング）5。慶應義塾大学通信教育部。
4. （他大学出講）言語学講義（言語と社会）。成蹊大学文学部。
5. （他大学出講）英語学研究基礎A317。成蹊大学文学部。

安江 枝里子

講演

1. 安江枝里子：感染症による移動の制約と再帰的な観光ーアフターコロナの訪日観光に向けてー。第34回立命館地理学会大会シンポジウム「観光と感染症」。京都。2022年11月26日。

その他（団体役員）

1. （学会誌編集委員）日本観光ホスピタリティ教育学会

大熊 美音子

講演

1. 大熊美音子：第1起業家と第2起業家間において『地域の意思』はどのように形成されるのかー都農ワインの事例。（第1回講座「アントレプレナーシップ講座」）武蔵大学・アルプス技研・相模原市役所研修。横浜・オンライン。2022年6月4日。
2. 大熊美音子：観光領域におけるラグジュアリーブランド研究の可能性。杏林大学外国語学部アカデミア。三鷹。2022年6月29日。

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （委員）神奈川県大規模小売店舗立地審議会
2. （委員）公益財団法人東京観光財団。第20回東京シティガイド検定委員会作問部会・テキスト作成分科会

小林 輝美

講演

1. 小林輝美：ビデオ会議時の日本語スピーチの自己評価、伝達感、注目点の比較ー話者のビデオの有無に焦点を当ててー。AI時代の教育学会2022年度第1回研究会。オンライン。2022年6月18日。
2. 小林輝美：ビデオ会議を使用した英語スピーチ時の注目点の検証。日本教育工学会研究会。信州大学。2022年7月2日。
3. 小林輝美：英語らしい発音ができるトリスニング力が上がるポプスを使って発音を改善。東京都立成瀬高等学校。2022年7月12日。

4. 小林輝美：英語らしい発音ができるとリスニング力が上がる ポップスを使って発音を改善。長野県立野沢南高等学校・オンライン。2022年7月27日。
5. 小林輝美：ビデオ会議時のビデオの有無による英語スピーチの伝達度の比較。日本教育工学会2022年秋季全国大会（第41回大会）。カルッツかわさき・オンライン。2022年9月10日。
6. 小林輝美：ディズニー映画で学ぶ英語－英語と日本語は同じ気持ちを表せるか。東京都立上野高等学校。2022年9月21日。
7. 小林輝美：ジブリ映画で学ぶ英語－英語で牛乳一本を何と表現するか。東京都立美原高等学校。2022年10月13日。
8. 小林輝美：ディズニー映画で学ぶ英語－英語と日本語は同じ気持ちを表せるか。神奈川県立伊志田高校。2022年10月27日。
9. 小林輝美：英語らしい発音ができるとリスニング力が上がる ポップスを使って発音を改善。東京成徳大学高等学校。2022年10月29日。
10. 小林輝美：ディズニー映画で学ぶ英語－英語と日本語は同じ気持ちを表せるか。神奈川県立大和西高等学校。2022年11月21日。

論文

1. 小林輝美：ビデオ会議時の視聴者の映像の有無による英語スピーチの自己評価と生じる感情の比較。教育テスト研究センター年報。6. 73-75. 2022年7月。

その他（学会等および社会における主な活動・団体役員）

1. （運営）AI時代の教育学会2022年度第1回研究会。2022年6月18日。
2. （運営）AI時代の教育学会2022年度第2回研究会。2023年3月20日。
3. （編集委員・研究会委員）AI時代の教育学会

その他（教育活動上特記すべき事項）

1. （他大学出講）ITを活用した授業づくり。東京学芸大学。

藤田 由香利

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （企画）Japan Festival 海南「日中交流会」。オンライン。2022年6月25日。
2. （公開講座）中国語講座「中国語発音の不思議“e”のいろいろ」。株式会社Rinell。オンライン。2022年8月3-4日。

渡邊 俊

講演

1. 渡邊俊：比喩が「文字通りに」解釈される時：K. Woodman-MaynardのThe Great Gatsby: A Graphic Novel Adaptationを検討材料に。日本F・スコット・フィッツジェラルド協会2022年度全国大会シンポジウム「The Great Gatsbyの『精読』と『解釈』を巡って」。東京・オンライン。2022年9月3日。

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （書評）My Daddy's Blues: A Childhood Memoir from the Land of Huck & Jim (by Gregg Andrews). マーク・トウェイン 研究と批評。22. 61-63. 日本マーク・トウェイン協会。2022年6月。